

I 教育課程表

授業科目のナンバリングについて（2022年度以降入学生に適用）

（1）ナンバリングとは

授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修順序等が明確になるので、計画的な学修に役立ててください。

（2）付番基準

科目に付番した番号を「ナンバリングコード」と呼び、10桁の数字、アルファベットから構成されています。

例：A B C - D - 5 - 1 2 3 4 5
 ① ② ③ ④

① 専攻	② 授業形態	③ 大学院の科目は5	④ 科目No.
HLS：人間生活学専攻 FSN：食物栄養学専攻	L：講義 S：演習 X：その他		h0000：人間生活学専攻専門科目 s0000：食物栄養学専攻専門科目

1. 人間生活学専攻（2020年度以降入学生に適用）

科目コード	ナンバリング ※2022年度入学生に適用	他専攻受入れ	他大学院受入れ	遠隔授業対応	分野	授業科目	単位数		開講学年・週時数				担当者	教職	備考
							必修	選択	1		2				
									前	後	前	後			
h0101	HLS-L-5-h0101	△	△	△	人間生活学分野	人間生活学特講Ⅰ(人間生活学原論)	2	2					飯村 しのぶ	○	隔年（2023年度開講）
h0201	HLS-L-5-h0201	△	△	△		人間生活学特講Ⅱ(生活と教育)	2	2	2				伊井 義人	○	
h0511	HLS-L-5-h0511	△	△	△		人間生活学特講Ⅲ(生活と思想)	4	2	2				内田 博		
h0611	HLS-L-5-h0611	△	×	×		人間生活学特講Ⅳ(生涯発達と学習)	4	2	2				新川 貴紀	○	
h0711	HLS-L-5-h0711	△	△	△		人間生活学特講Ⅴ(子どもと社会)	2	○					木脇 奈智子		
h0811	HLS-L-5-h0811	×	×	×		人間生活学特講Ⅵ(子どもと教育)	2	○					庄井 良信		
h0311	HLS-S-5-h0311	△	×	△		人間生活学演習Ⅰ	4	2	2				伊井 義人	○	
h0351	HLS-S-5-h0351	△	×	△		人間生活学演習Ⅱ	4	2	2				内田 博		
h0361	HLS-S-5-h0361	×	×	×		人間生活学演習Ⅲ	4	2	2				庄井 良信		
h1101	HLS-L-5-h1101	△	△	△	生活環境分野	生活環境学特講Ⅰ(都市環境論Ⅰ)	2	2					田中 宏実	○	隔年（2022年度開講）
h1201	HLS-L-5-h1201	△	×	×		生活環境学特講Ⅱ(都市環境論Ⅱ)	2	2					田中 宏実	○	
h1401	HLS-L-5-h1401	△	×	×		生活環境学特講Ⅲ(生活環境論)	4	2	2				松島 肇		
h1601	HLS-L-5-h1601	△	△	△		生活環境学特講Ⅳ(家族と生活文化)	4	2	2				木脇 奈智子	○	
h1701	HLS-L-5-h1701	△	△	△		生活環境学特講Ⅴ(人間生活と食文化)	2	2					岡崎 由佳子	○	
h1801	HLS-L-5-h1801	△	×	△		生活環境学特講Ⅵ(人間生活と衣文化)	2	2					長尾 順子	○	
h1301	HLS-S-5-h1301	△	×	×		生活環境学演習Ⅰ	4	2	2				田中 宏実	○	
h1501	HLS-S-5-h1501	△	×	△		生活環境学演習Ⅱ	4	2	2				木脇 奈智子	○	
h1511	HLS-S-5-h1511	△	×	△		生活環境学演習Ⅲ	4	2	2				岡崎 由佳子	○	
h2101	HLS-L-5-h2101	△	△	△	生活福祉分野	生活福祉学特講Ⅰ(障害と福祉Ⅰ)	2	2					若狭 重克		隔年（2023年度開講）
h2201	HLS-L-5-h2201	△	△	△		生活福祉学特講Ⅱ(障害と福祉Ⅱ)	2	2					丸山 正三		
h2401	HLS-L-5-h2401	△	△	△		生活福祉学特講Ⅲ(医療と福祉)	4	2	2				丸山 正三		
h2611	HLS-L-5-h2611	△	△	△		生活福祉学特講Ⅳ(地域福祉) ※	4	2	2				小沼 春日		
h2612	HLS-L-5-h2612			×									船木 幸弘		
h2701	HLS-L-5-h2701	△	△	△		生活福祉学特講Ⅴ(経済と福祉)	4	2	2				内田 博		
h2801	HLS-L-5-h2801	△	×	×		生活福祉学特講Ⅵ(子どもと福祉) ※	2	○					船木 幸弘		
h2802	HLS-L-5-h2802			△									小川 恭子		
h2301	HLS-S-5-h2301	△	×	△		生活福祉学演習Ⅰ	4	2	2				若狭 重克		
h2501	HLS-S-5-h2501	△	×	△	生活福祉学演習Ⅱ	4	2	2				小川 恭子			
h3101	HLS-X-5-h3101	×	×	△	特別研究※		6				○	庄井 良信		} 人間生活分野 } 生活環境分野 } 生活福祉分野	
h3102	HLS-X-5-h3102			△									岡崎 由佳子		
h3103	HLS-X-5-h3103			△									木脇 奈智子		
h3104	HLS-X-5-h3104			△									田中 宏実		
h3105	HLS-X-5-h3105			△									若狭 重克		
h3106	HLS-X-5-h3106			△									小川 恭子		

※担当者を選択（複数担当者の履修登録不可）

2. 食物栄養学専攻（2022年度入学生に適用）

科目コード	ナンバリング	他専攻受入れ	他大学院受入れ	遠隔授業対応	分野	授業科目	単位数		開講学年・週時数				担当者	教職	備考
							必修	選択	1		2				
									前	後	前	後			
s0011	FSN-L-5-s0011	△	△	×	基礎科目	食物栄養学概論	2	2				原 博			
s0021	FSN-L-5-s0021	△	×	△		栄養統計学概論	2	○				小山田 正人 田中 清		集中講義	
s0101	FSN-L-5-s0101	△	△	×	食品品質分野	食品品質学特論Ⅰ	2	2				松坂 裕子	○		
s0201	FSN-S-5-s0201	×	×	×		食品品質学演習Ⅰ	4	2	2			未定	○	2022年度開講せず	
s0301	FSN-L-5-s0301	△	△	△		食品品質学特論Ⅱ	2	2				未定	○	2022年度開講せず	
s0401	FSN-S-5-s0401	×	×	△		食品品質学演習Ⅱ	4	2	2			未定	○	2022年度開講せず	
s0411	FSN-L-5-s0411	△	△	△		食品品質学特論Ⅲ	2	2				菊地 和美 村田 まり子	○		
s0421	FSN-S-5-s0421	×	×	△		食品品質学演習Ⅲ	4	2	2			菊地 和美	○		
s0511	FSN-L-5-s0511	△	×	×		食品加工機能学特論	2	2				中川 良二	○		
s1101	FSN-L-5-s1101	△	△	×		生体機能分野	生体機能学特論Ⅰ	2	2				中河原 俊治	○	
s1211	FSN-S-5-s1211	×	×	×	生体機能学演習Ⅰ		4	2	2			中河原 俊治	○		
s1301	FSN-L-5-s1301	△	△	×	生体機能学特論Ⅱ		2	2				原 博	○		
s1411	FSN-S-5-s1411	×	×	×	生体機能学演習Ⅱ		4	2	2			原 博	○		
s1311	FSN-L-5-s1311	△	×	△	生体機能学特論Ⅲ		2	2				三田村 理恵子 西向 めぐみ	○		
s1511	FSN-S-5-s1511	×	×	△	生体機能学演習Ⅲ		4	2	2			三田村 理恵子	○		
s2111	FSN-L-5-s2111	△	△	△	栄養管理分野	公衆栄養学特論Ⅰ	2	2				小山田 正人	○		
s2211	FSN-S-5-s2211	×	×	△		公衆栄養学演習Ⅰ	4	2	2			小山田 正人	○		
s2261	FSN-L-5-s2261	△	△	△		公衆栄養学特論Ⅱ	2	2				隈元 晴子	○		
s2271	FSN-S-5-s2271	×	×	△		公衆栄養学演習Ⅱ	4	2	2			隈元 晴子	○		
s2281	FSN-L-5-s2281	△	×	×		公衆栄養学特論Ⅲ	2	○				松本 恵	○		
s2301	FSN-L-5-s2301	△	△	△		栄養管理学特論Ⅰ	2	2				藤井 義博	○		
s2411	FSN-S-5-s2411	×	×	△		栄養管理学演習Ⅰ	4	2	2			藤井 義博	○		
s2501	FSN-L-5-s2501	△	△	×		栄養管理学特論Ⅱ	2	2				中川 幸恵	○		
s2601	FSN-S-5-s2601	×	×	×		栄養管理学演習Ⅱ	4	2	2			未定	○	2022年度開講せず	
s2701	FSN-L-5-s2701	△	△	△		栄養管理学特論Ⅲ	2			2		小山田 正人	○		
s2801	FSN-L-5-s2801	△	×	×	栄養管理学特論Ⅳ	2	2				中川 幸恵 小山田 正人 石川 祐一 小西 徹夫 佐久間 一郎 角田 政隆	○			
s2901	FSN-L-5-s2901	△	×	△	共通	食物栄養学総合講義	4		2	2		小山田 正人 菊地 和美 隈元 晴子 中河原 俊治 原 博 三田村 理恵子 大西 正男 中川 幸恵 藤井 義博 松坂 裕子 村田 まり子			
s3002	FSN-S-5-s3002	×	×	△		食物栄養学研究法※		4		○		菊地 和美	}	食品品質分野	
s3004	FSN-S-5-s3004			×								中河原 俊治			
s3009	FSN-S-5-s3009			×								原 博			
s3005	FSN-S-5-s3005			△								三田村 理恵子			
s3006	FSN-S-5-s3006			△								小山田 正人			
s3007	FSN-S-5-s3007			△								隈元 晴子			
s3102	FSN-X-5-s3102	×	×	△		特別研究※		6	○		菊地 和美	}	食品品質分野		
s3104	FSN-X-5-s3104			×							中河原 俊治				
s3109	FSN-X-5-s3109			×							原 博				
s3105	FSN-X-5-s3105			△							三田村 理恵子				
s3106	FSN-X-5-s3106			△							小山田 正人				
s3107	FSN-X-5-s3107			△							隈元 晴子				

※担当者を選択（複数担当者の履修登録不可）

2. 食物栄養学専攻（2020年度、2021年度入学生に適用）

科目コード	他専攻受入れ	他大学院受入れ	遠隔授業対応	分野	授業科目	単位数		開講学年・週時数				担当者	教職	備考	
						必修	選択	1		2					
								前	後	前	後				
s0011	△	△	×	基礎科目	食物栄養学概論		2	2				原 博			
s0021	△	×	△		栄養統計学概論		2	○					小山田 正人 田中 清		集中講義
s0101	△	△	×	食品品質分野	食品品質学特論Ⅰ		2		2			松坂 裕子	○		
s0201	×	×	×		食品品質学演習Ⅰ		4	2	2				未定	○	2022年度開講せず
s0301	△	△	△		食品品質学特論Ⅱ		2	2					未定	○	2022年度開講せず
s0401	×	×	△		食品品質学演習Ⅱ		4	2	2				未定	○	2022年度開講せず
s0411	△	△	△		食品品質学特論Ⅲ		2		2				菊地 和美 村田 まり子	○	
s0421	×	×	△		食品品質学演習Ⅲ		4	2	2				菊地 和美	○	
s0511	△	×	×		食品加工機能学特論		2		2				中川 良二	○	
s1101	△	△	×		生体機能分野	生体機能学特論Ⅰ		2		2			中河原 俊治	○	
s1211	×	×	×	生体機能学演習Ⅰ			4	2	2				中河原 俊治	○	
s1301	△	△	×	生体機能学特論Ⅱ			2		2				原 博	○	
s1411	×	×	×	生体機能学演習Ⅱ			4	2	2				原 博	○	
s1311	△	×	△	生体機能学特論Ⅲ			2	2					三田村 理恵子 西向 めぐみ	○	
s1511	×	×	△	生体機能学演習Ⅲ			4	2	2				三田村 理恵子	○	
s2111	△	△	△	栄養管理分野		公衆栄養学特論Ⅰ		2	2				小山田 正人	○	
s2211	×	×	△		公衆栄養学演習Ⅰ		4	2	2				小山田 正人	○	
s2251	△	×	×		公衆栄養学特論Ⅱ		2	○					松本 恵	○	集中講義
s2301	△	△	△		栄養管理学特論Ⅰ		2		2				藤井 義博	○	
s2411	×	×	△		栄養管理学演習Ⅰ		4	2	2				藤井 義博	○	
s2501	△	△	×		栄養管理学特論Ⅱ		2	2					中川 幸恵	○	
s2601	×	×	×		栄養管理学演習Ⅱ		4	2	2				未定	○	2022年度開講せず
s2701	△	△	△		栄養管理学特論Ⅲ		2			2			小山田 正人	○	
s2801	△	×	×		栄養管理学特論Ⅳ		2		2				中川 幸恵 小山田 正人 石川 祐一 小西 徹夫 佐久間 一郎 角田 政隆	○	
s2901	△	×	△		共通	食物栄養学総合講義	4		2	2			小山田 正人 菊地 和美 隈元 晴子 中河原 俊治 原 博 三田村 理恵子 大西 正男 中川 幸恵 藤井 義博 松坂 裕子 村田 まり子		
s3002	×	×	△	食物栄養学研究法※		4			○				菊地 和美	}	食品品質分野
s3004			×										中河原 俊治		
s3009			×										原 博		
s3005			△										三田村 理恵子		
s3006			△										小山田 正人		
s3102	×	×	△	特別研究※		6			○				菊地 和美	}	食品品質分野
s3104			×										中河原 俊治		
s3109			×										原 博		
s3105			△										三田村 理恵子		
s3106			△										小山田 正人		

※担当者を選択（複数担当者の履修登録不可）

Ⅱ 修了の要件

Ⅲ 研究指導計画書の作成について

Ⅳ 修士論文について

1. 藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程
2. 修士論文の評価基準
3. 修士論文作成スケジュール・モデル
4. 修士論文の保存と要旨について

II 修了の要件

1. 本大学院を修了するためには合計 30 単位以上修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

人間生活学専攻

区分	所属する分野	所属する分野以外	特別研究
必修単位			6 単位 (*1)
選択必修単位	6 単位以上 (*2)	4 単位以上 (*3)	
選択単位	14 単位以上 (*4)		
修了必要単位数合計	30 単位以上		

- *1 所属する分野の特別研究を必修とする。
- *2 指導教員が担当する講義及び演習を選択必修とする。
- *3 所属する分野以外の各分野の科目を 1 科目以上選択必修とする。
- *4 他の専攻の授業科目は、8 単位を超えない範囲で選択単位として算入できる。
また、他の大学の大学院等で修得した単位は 10 単位まで選択単位として算入できる。

食物栄養学専攻

区分	所属する分野	所属する分野以外	食物栄養学研究法	特別研究
必修単位		4 単位	4 単位 (*1)	6 単位 (*1)
選択必修単位	6 単位以上 (*2)	6 単位以上 (*3)		
選択単位	4 単位以上 (*4)			
修了必要単位数合計	30 単位以上			

- *1 指導教員が担当する特別研究と食物栄養学研究法を必修とする。
- *2 指導教員が担当する講義及び演習 1 科目（科目名末尾のローマ数字が同一の講義と演習の組み合わせとする）を選択必修とする。
- *3 所属する分野以外の各分野の科目を 1 科目以上選択必修とする。
- *4 他の専攻の授業科目は、8 単位を超えない範囲で選択単位として算入できる。
また、他の大学の大学院等で修得した単位は 10 単位まで選択単位として算入できる。

2. 成績評価は、次のとおりである。

評価基準

	点数	評価	
		2016年度 入学生	2015年度 以前入学生
合格	100～90	A+	優
	89～80	A	
	79～70	B	良
	69～60	C	可
	—	認定	認定
不合格	59～0	F	不可
	—	不認定	不認定
放棄	—	放棄	放棄

※不合格、放棄の成績は、成績証明書には表記しない。

Ⅲ 研究指導計画書の作成について

研究課題や研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導計画を明示するため、学生の入学年度当初において「研究指導計画書」（以下「計画書」という）を作成する。

作成の手続きは、以下の手順で行う。

- ① 「計画書」の様式は、右のとおりとする。
- ② 指導教員は、学生と十分な打ち合わせを行い「計画書」を作成する。
- ③ 「計画書」は、入学年度の履修登録確定時までに指導する学生ごとに作成する。
- ④ 「計画書」は、研究指導が修了するまで、指導教員が研究指導の記録として保管する。
- ⑤ 「計画書」の写しを4月末までに教務課に提出する。
- ⑥ 研究の進捗状況等により計画の見直しを行った場合は、新たな「計画書」を再提出する。

年度 藤女子大学大学院人間生活学研究所 研究指導計画書

【西暦 年 月 日作成】

学籍番号	学生氏名		卒業番号		
専攻名	年次	年次	入学 年度	西暦	年度
研究題目					
指導教員名	印	副指導教員名	印		
研究実施計画	研究実施計画 全指導教員と相談の上、学生が記入（研究の概要、研究目的、研究方法、研究計画等を含む）				
研究指導計画	指導計画 全指導教員記入（年間指導計画等を含め、具体的に記入）				
特記事項					教務係受付

研究の進捗状況を把握するために修士論文作成中間報告会（2年次 5月下旬～6月上旬の予定）を行い、研究内容、研究方法等の妥当性や関連文献とのかかわりなどについて討議し、学生は今後の研究への取り組みについて助言や指導を受ける。

その後、学生は「藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程」に基づき、学位論文を完成・提出し、修士論文発表会を経て学位論文の審査及び最終試験を受ける。

IV 修士論文について

1. 藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程

（指導教員）

第1条 修士論文（以下「論文」という。）の作成指導を行うために、指導教員を定める。

2 指導教員は、藤女子大学大学院人間生活学研究科（以下「研究科」という。）において特別研究を担当する教員1名とする。

3 やむを得ない事由がある場合には、指導教員が代わることがある。

4 指導教員の指導を補佐するため、副指導教員を置くことができる。

（題目の届出）

第2条 論文を提出しようとする者は、あらかじめ指導教員の指導を受け、修了年度の前期授業終了日までに、修士論文題目届（様式1）を研究科長に提出するものとする。

2 やむを得ない事情により題目を変更する者は、指導教員の承認を受け、修士論文題目変更届（様式2）を研究科長に提出するものとする。

（審査の願い出）

第3条 論文の審査を願い出る者は、次の書類を研究科長に提出するものとする。

- | | |
|------------------|---------|
| (1) 修士論文審査願（様式3） | 1部 |
| (2) 修士論文 | 正1部 副2部 |
| (3) 略歴書（様式4） | 1部 |

（願い出の期限）

第4条 論文の審査の願い出の期限は、修了年度の2月9日正午までとする。ただし、2月9日が休日の場合は2月10日正午までとする。

（審査の付託）

第5条 研究科長は論文を受理したとき、審査委員会に論文審査及び最終試験を付託する。

2 審査委員会に関する規程は、別に定める。

（研究科委員会の審議）

第6条 研究科委員会は、審査委員会の報告に基づいて合否の判定を行うものとする。

（再審査）

第7条 論文の審査に不合格になった者には、後日、再提出を求め再審査をすることが

ある。

(保管)

第8条 論文は、本学図書館に保管する。

(その他)

第9条 非常事態等により、学年暦に変更が生じた場合は、修士論文題目届提出期限、
修士論文提出期限について変更することがある。

附 則

- 1 この規程は、2003年4月23日から施行する。
- 2 2002年4月1日制定の藤女子大学人間生活学研究科修士論文規程は、廃止する。

附 則

この規程は、2003年12月10日から施行する。

附 則

この規程は、2004年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2007年7月26日から施行する。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行し、2015年度修了予定者から適用する。

附 則

この規程は、2021年4月1日から施行する。

〈注意〉 修士論文の各届出用紙は、提出の際にはA4サイズの様式を使用すること。

様式1

修士論文題目届

年 月 日

藤女子大学大学院人間生活学研究科長 殿

人間生活学研究科 専攻

学籍番号

氏 名

修士論文の題目を次のとおり届け出ます。

論文題目

Empty box for thesis title

指導教員

副指導教員

様式2

修士論文題目変更届

年 月 日

藤女子大学大学院人間生活学研究科長 殿

人間生活学研究科 専攻

学籍番号

氏 名

修士論文の題目を次のとおり変更します。

論文題目

Empty box for thesis title change

指導教員

副指導教員

様式3

修士論文審査願

年 月 日

藤女子大学大学院人間生活学研究科長 殿

フリガナ 氏 名

生年月日 年 月 日生

本籍地 (都道府県名のみ)

連絡用住所

専攻名 専攻

指導教員

副指導教員

論文題目

Empty box for thesis title

論文審査委員

主査 教授

副査

副査

副査

様式4

略 歴 書

年 月 日

藤女子大学大学院人間生活学研究科長 殿

人間生活学研究科 専攻
学籍番号

氏 名

私の略歴は、以下のとおりです。

生年月日	年 月 日生
本 籍 地	(都道府県名のみ)
大 学	大学 学部 年 月 入学 学科 年 月 卒業・退学
職 歴	年 月 年 月 年 月
大 学 院	藤女子大学大学院人間生活学研究科 年 月 入学 専攻 年 月 修了・修了見込

2. 修士論文の評価基準

修士論文は、論文ごとに審査委員会を組織し、以下の各項目に関する審査結果を基に、総合的に判断してその成績を評価する。*

- 1) 当該研究領域において、修士としての十分な知識と能力が認められる。
- 2) 研究テーマの設定が妥当であり、また論文作成に当って問題意識が十分明確である。
- 3) 論述（本文、図、表、引用、文献表等）が適切であり、論理構成が首尾一貫している。
- 4) 採用された研究方法、調査・実験方法、論証方法が適切であり、また論証に当っての分析・考察が十分論理的かつ具体的である。
- 5) 当該研究領域の理論的・実証的見地に照らして、独自の価値が認められる。
- 6) 外国語文献読解や外国における調査が要求されるテーマについては、必要とされる当該外国語に関する十分な能力が認められる。

*審査委員会は、指導教員を主査とし、両専攻の教員を副査として構成される。必要に応じて大学院担当教員以外の者を副査に加えることがある。

3. 修士論文作成スケジュール・モデル

内 容	日 程	摘 要 (担 当)
① 学位論文題目提出受付 修士論文題目届 1部	7月1日(金)より 8月4日(木)まで 17時締切	教務課 ☆届出用紙はポータルサイト「F-Station」よりダウンロード
② 学位論文題目変更届受付 修士論文題目変更届 1部	題目提出後随時	教務課（該当者のみ） ☆届出用紙は教務課で配付
③ 審査委員会設置	11月中旬	研究科委員会
④ 学位論文審査受付 修士論文審査願 1部 修士論文 正1部 副2部以上 略歴書 1部	2023年 2月9日(木)まで 12時締切	教務課 ☆願出用紙・略歴書用紙はポータルサイト「F-Station」よりダウンロード <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">論文の製本は指導教員の指示に従うこと</div>
⑤ 学位論文の審査および最終試験の実施とその判定	修士論文受理後～ 2月末日までの期間	審査委員会
⑥ 学位授与の可否を決定（修了判定会議）	3月6日(月) (修了判定会議)	研究科委員会
⑦ 修了判定結果発表	3月7日(火)	☆ポータルサイト「F-Station」より連絡
⑧ 要旨、保存用修士論文(1部)提出	3月13日(月)	教務課（12時まで）
⑨ 学位記の授与(学位記授与式)	3月20日(月)	

※ 特別再履修者の日程は別に定める。（該当者に別途通知する。）

以下のモデルを参考にして、指導教員の指導の下に、自らの計画を作成すること。

1) 人間生活学専攻

1年次	4月～	論文テーマ検討
	10月末	論文テーマ確定
	1月末	論文構想（章立て、実験・調査計画等）確定

2年次	5月下旬～	
	6月上旬	論文作成中間報告会
	8月4日	論文題目提出
	2月9日	論文提出
	2月18日	論文発表会

2) 食物栄養学専攻

1年次	4月～	論文テーマ検討
	8月末	論文テーマ確定
		論文構想（実験・調査計画等）確定
		実験・調査の実施
2年次	5月下旬～	
	6月上旬	論文作成中間報告会
	8月4日	論文題目提出
	2月9日	論文提出
	2月18日	論文発表会

4. 修士論文の保存と要旨について

修士論文審査に合格し修了する大学院生の修士論文は、図書館に保存する。
要旨は、下記の要領で作成し印刷したものを、保存用修士論文とともに教務課に提出する。

1) 修士論文

1部を提出する。製本は不要。ページ数が多い場合は、資料等を別冊にしてもよい。

2) 要旨

(様式)

- A4サイズ、2枚以内
- 余白は上35mm、左右下30mm
- 文字数および行数は設定自由
- 題目は14フォントで中揃え、所属と氏名は11フォントで右揃え
- 一行目「〇〇年度修士論文要旨」(西暦で書くこと)と【目的】以下の文章は、Windowsの場合は10.5フォント、Macの場合は11フォント



V 教職課程履修要項

1. 人間生活学研究科で取得できる教育職員免許状の種類と免許教科
2. 教育職員免許状授与の基礎資格と最低修得単位数
3. 中学校・高等学校教諭専修免許状取得について
4. 栄養教諭専修免許状取得について

V 教職課程履修要項

1. 人間生活学研究科で取得できる教育職員免許状の種類と免許教科

本大学院では、以下の教育職員専修免許状を取得することができる。

ただし、すでに当該専修免許状の基礎となる一種免許状等を取得している者に限る。

専攻	免許状の種類	免許教科
人間生活学専攻	中学校教諭専修免許状	家庭
	高等学校教諭専修免許状	家庭
食物栄養学専攻	栄養教諭専修免許状	

2. 教育職員専修免許状授与の基礎資格と最低修得単位数

授与免許状	基礎資格		最低修得単位数
中学校教諭専修免許状（家庭）	中学校教諭一種免許状（家庭）	修士の学位を取得すること	大学が独自に設定する科目 24 単位以上
高等学校教諭専修免許状（家庭）	高等学校教諭一種免許状（家庭）		大学が独自に設定する科目 24 単位以上
栄養教諭専修免許状	栄養教諭一種免許状 管理栄養士免許		大学が独自に設定する科目 24 単位以上

3. 中学校・高等学校教諭専修免許状取得について

次表の授業科目の中から24単位以上を修得すること。

家庭

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数		
			必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	24	人間生活学特講Ⅰ（人間生活学原論）		2	このうち 24 単位 選択必修
		人間生活学特講Ⅱ（生活と教育）		2	
		生活環境学特講Ⅰ（都市環境論Ⅰ）		2	
		生活環境学特講Ⅱ（都市環境論Ⅱ）		2	
		生活環境学特講Ⅳ（家族と生活文化）		4	
		生活環境学特講Ⅴ（人間生活と食文化）		2	
		生活環境学特講Ⅵ（人間生活と衣文化）		2	
		生活環境学演習Ⅰ		4	
		生活環境学演習Ⅱ		4	
		生活環境学演習Ⅲ		4	
教育の基礎的理解に関する科目		人間生活学特講Ⅳ（生涯発達と学習）		4	
		人間生活学演習Ⅰ		4	

4. 栄養教諭専修免許状取得について

次表の授業科目の中から24単位以上を修得すること。

栄養教諭

<2022年度入学生に適用>

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数			
			必修	選択		
大学が加える栄養に係る教育に関する科目に準ずる科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	24	生体機能学特論Ⅰ		2	このうち 24単位 選択必修
			生体機能学演習Ⅰ		4	
			生体機能学特論Ⅱ		2	
			生体機能学演習Ⅱ		4	
			生体機能学特論Ⅲ		2	
			生体機能学演習Ⅲ		4	
	食べ物と健康		食品品質学特論Ⅰ		2	
			食品品質学演習Ⅰ		4	
			食品品質学特論Ⅱ		2	
			食品品質学演習Ⅱ		4	
			食品品質学特論Ⅲ		2	
			食品品質学演習Ⅲ		4	
			食品加工機能学特論		2	
	栄養教育論		栄養管理学特論Ⅲ		2	
	臨床栄養学		栄養管理学特論Ⅰ		2	
			栄養管理学演習Ⅰ		4	
			栄養管理学特論Ⅱ		2	
			栄養管理学演習Ⅱ		4	
			栄養管理学特論Ⅳ		2	
	公衆栄養学		公衆栄養学特論Ⅰ		2	
			公衆栄養学演習Ⅰ		4	
			公衆栄養学特論Ⅱ		2	
			公衆栄養学演習Ⅱ		4	
			公衆栄養学特論Ⅲ		2	

<2020・2021 年度入学生に適用>

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考	
科目	単位数	授業科目	単位数			
			必修	選択		
大学が加える栄養に係る教育に関する科目に準ずる科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	24	生体機能学特論Ⅰ		2	このうち 24単位 選択必修
			生体機能学演習Ⅰ		4	
			生体機能学特論Ⅱ		2	
			生体機能学演習Ⅱ		4	
			生体機能学特論Ⅲ		2	
			生体機能学演習Ⅲ		4	
	食べ物と健康		食品品質学特論Ⅰ		2	
			食品品質学演習Ⅰ		4	
			食品品質学特論Ⅱ		2	
			食品品質学演習Ⅱ		4	
			食品品質学特論Ⅲ		2	
			食品品質学演習Ⅲ		4	
	栄養加工機能学特論		食品加工機能学特論		2	
			栄養管理学特論Ⅲ		2	
	栄養教育論				2	
	臨床栄養学		栄養管理学特論Ⅰ		2	
			栄養管理学演習Ⅰ		4	
			栄養管理学特論Ⅱ		2	
			栄養管理学演習Ⅱ		4	
			栄養管理学特論Ⅳ		2	
	公衆栄養学		公衆栄養学特論Ⅰ		2	
			公衆栄養学演習Ⅰ		4	
			公衆栄養学特論Ⅱ		2	